

沖縄県保険医協会会員数
814名
(11月1日付 現勢)
全国保険医団体連合会会員数
107,299名
(11月1日付 現勢)

沖縄保険医新聞

発行所 沖縄県保険医協会
〒902-0078 那覇市字識名1195-1
大城産業ビル106号
TEL (098) 832-7813
FAX (098) 832-4482
<https://okinawa-hk.com>
発行人 高嶺朝広
年間購読料1800円(会員の購読料は会費に含む)



会場（自治会館4階）の様子

医療安全管理講習会

最近の医療機関へのクレームの特徴とその対応法を身につける

会場（自治会館4階）の様子
尾内康彦氏
10月3日（日）午後2時～4時、沖縄県市町村自治会館にて、尾内康彦氏（医療法人尽生会聖和病院経営管理室顧問）を講師にお招きして医療安全管理講習会を開催した。今回は、オンライン（ZOOMウェビナー）参加53名、会場参加8名、あわせて61名が参加した。

患者トラブル、クレーム対応の講習会は約3年ぶりの開催だ。今までには応召義務に縛られすぎたトラブル、反社会的勢力や覚せい剤使用者、統合失調症の者の事例などが紹介されたが、今回は最近の傾向としてインターネット上での医療機関への誹謗中傷の書き込みについての事案に重点が置かれた。犯罪まがいの書き込みをした者に対して、特定手続きを定めた「プロバイダ責任制限法」が成立した。これにより1年近く情報開示にかかるついたものが、裁判所を通じた1回の請求での開示が可能となる。

また、応召義務についても昭和24年に出された当時の厚生省の通知には現代とはそぐわない内容が存在する。そのため新しい「応召義務」（政令発1225第4号）には、診療の求めに応じない事が正当化される場合について述べられ、緊急対応が必要であるかどうか（病状の深刻度）、診療時間、勤務時間内かどうか、患者と医師間で患者の迷惑行為による信頼関係の喪失、医療個別には患者の迷走行為に在するか否かについての基

費不払い、入院継続が不必要な場合の退院、言語の不通、宗教上の理由での治療の困難、訪日外国人特有の理由による困難な場合は治療を拒否することが可能とされた。

当日会場へお越しの会員の中には、トラブル対策として監視カメラの設置、警察介入事案履歴のある患者に対する、事前聞き取りお問い合わせが実施されました。

8月に郵送した待合室キャンペーン懸賞付きクイズハガキ「クイズで考える私たちの医療」の締切が今月末となっております。患者さんやスタッフの皆様へのお声掛け、ご協力を宜しくお願いします。

医療運動コーナー

クイズで考える私たちの医療 今月、11月30日締切です

8月に郵送した待合室キャンペーン懸賞付きクイズハガキ「クイズで考える私たちの医療」の締切が今月末となっております。患者さんやスタッフの皆様へのお声掛け、ご協力を宜しくお願いします。

沖縄県保険医協会主催
新型コロナウイルス感染症学習会
(今回オンライン配信はありません。)

『沖縄県における疫学状況と今後の対策』
講師：高山義浩氏
(沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科副部長)
日時：11月25日（木）午後7時30分～9時
会場：沖縄県市町村自治会館2階会議室
(那覇市旭町116-37/那覇バスタークルマ向かい)
定員先着30名（※定員に達し次第締切となります。）

は第3波、第4波
は、診療の求めに応じない
事が正当化される場合につ
いて述べられ、緊急対応が
必要であるかどうか（病状の
深刻度）、診療時間、勤務時
間内かどうか、患者と医師
間で患者の迷惑行為による信
頼関係の喪失、医療個別には
患者の迷走行為に在するか否
かについての基

らまだまだ感染していない人も多く、ワクチンでの集団免疫がないと収束しないと考えられる。

第6波は通常冬で増えるウイルスなので昨年同様にやつてくるでしょう。しかし、ワクチンが11月までに一通り終わってい

る。実際に死者数はないと考えてい

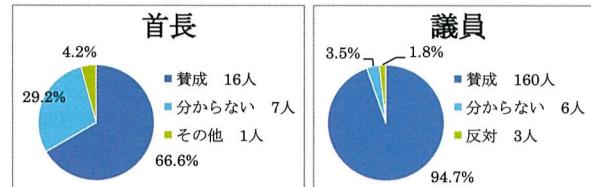
る。実際には第3波、第4波

は第3波、第4波

質問2

日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准するべきだと思いますか?

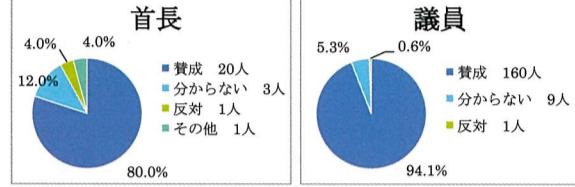
賛成	176人 (91.2%)	反対	3人 (1.6%)
分からぬ	13人 (6.7%)	その他	1人 (0.5%)
※未回答 3人			



質問3

核兵器禁止条約第1回締約国会議に、日本政府が参加(オブザーバー参加も含む)すべきだと思いますか?

賛成	180人 (92.3%)	反対	2人 (1.0%)
分からぬ	12人 (6.2%)	その他	1人 (0.5%)
※未回答 1人			



※未回答の割合は円グラフに反映していません。

※「その他」として「核兵器廃絶=核兵器禁止条約」という断定的な問い合わせがあり、政府が主体的な判断を示す必要があることなどを踏まえ、賛否を問う単純な回答ははじまない」という意見がありました。

※國頭村議会(議員10人)は、国に禁止条約への署名批准を求める意見書を全会一致で可決し、2020.12.18付で国に送付済みとのことで、議会事務局を通して全議員の質問1から3までの賛成を確認しました。

【参考】国に核兵器廃絶に向けての意見書をあげた自治体(下線部の12自治体は全会一致で採択)

沖縄県(16): 沖縄県議会、那覇市議会、石垣市議会、うるま市議会、名護市議会、西原町議会、与那原町議会、北谷町議会、南風原町議会、伊江村議会、北中城村議会、中城村議会、東村議会、読谷村議会、國頭村議会、大宜味村議会

質問4

日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准するために必要な条件はなんだと思われますか?また、署名・批准に至らない障壁となっていることはなんだと思われますか?

質問5

無差別大量殺りくの可能性のある、核兵器、生物兵器、化学兵器に対するお考えや、沖縄県民へのメッセージがありましたら、お聞かせください。

【首長、国会議員、県議の回答】

所属/氏名	質問4	質問5
沖縄県知事 玉城デニー	二度と核兵器による犠牲を出さないようにするため、唯一の戦争被爆国である日本として、その歴史や思いを国民の間でしっかりと共有することが大切です。平和を脅かす核兵器の廃絶に向け、核兵器禁止条約の必要性について、国民への十分な周知と理解が図られ、国民の間で十分に議論していくことが重要であると考えます。	沖縄県は、人類を破滅に導く全ての核兵器の製造・実験等に反対し、あらゆる国の核実験に抗議するため平成7年に「非核・平和沖縄宣言」を行いました。また、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを全ての国に求める「ヒバクシャ国際署名」に沖縄県知事として署名しております。平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に発信し、核兵器の廃絶・戦争の放棄・恒久平和の確立のため取り組んで参ります。
沖縄市長 桑江朝千夫	核を含む米国の抑止力が現実において安全保障に必要だから。	恒久平和
豊見城市長 山川 仁	唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約の締約会議に参加し、核保有国と非核保有国を取り持ち、対話を通じた国際社会の安全保障環境を導くとともに、高齢化している被爆者の声を若い世代が引き継ぎ、市民社会へ世界の恒久平和を享受する普遍的価値観の形成が必要と考えます。	本市では核兵器廃絶に向けて平成元年10月に「非核平和都市」を宣言し、あわせて市議会においても「核兵器廃絶・平和都市」が決議されています。また、平成21年3月に「核兵器の廃絶」を掲げる平和首長会議に加盟。令和元年6月には、広島、長崎の被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名に賛同・署名しています。核兵器禁止条約の効果は国連や平和関係の国際組織、平和首長会議など市民社会の諸団体、そして被爆者たちの強い信念をもって、活動を続けた結果と受け止めしており、核兵器廃絶が一日も早く実現できることを願い、世界の恒久平和の確立を訴えてまいります。
浦添市長 松本哲治	安全保障の観点。	種と文明の存続のため世界の恒久平和のために「核兵器廃絶」を訴える。
糸満市長 當銘真栄	質問1~3への回答: その他(核開発の動きを見せる北朝鮮の脅威が増す中、核兵器廃絶に向けた取り組みは重要であり、核兵器のない世界を目指す目的は糸満市として共感する。なお、本条約は国が主体となり取り組むべきものである。政府は、核保有国も参加する形で粘り強く核軍縮を進めるべき立場を表明しており、立場の異なる国々の橋渡し役として議論をリードし、国際的な存在感を示していくことの考え方である。ただ、核兵器廃絶=核兵器禁止条約と断定的問い合わせであることや、政府が主体的な判断を示す必要があることなどを踏まえ、賛否を問う単純な回答ははじまらず、「その他」とした。	質問1~3への回答: その他(核開発の動きを見せる北朝鮮の脅威が増す中、核兵器廃絶に向けた取り組みは重要であり、核兵器のない世界を目指す目的は糸満市として共感する。なお、本条約は国が主体となり取り組むべきものである。政府は、核保有国も参加する形で粘り強く核軍縮を進めるべき立場を表明しており、立場の異なる国々の橋渡し役として議論をリードし、国際的な存在感を示していくことの考え方である。ただ、核兵器廃絶=核兵器禁止条約と断定的問い合わせであることや、政府が主体的な判断を示す必要があることなどを踏まえ、賛否を問う単純な回答ははじまらず、「その他」とした。
南城市長 瑞慶覧長敏	世界を引っ張っていくという覚悟が足りない。	全廢すべき。
名護市長 渡具知武豊	核兵器禁止条約の批准のためには、全ての国による対話を粘り強く続けることが必要だと考えます。核兵器の使用が惨劇をもたらすことが認識される一方で、核兵器が存在することにより平和が保たれているという核抑止の概念があるため、国によって「核兵器禁止」という考え方方に隔たりがあると考えます。	1982年4月に非核平和都市宣言をし、平和首長会議のメンバーでもある名護市は、核兵器をはじめとする非人道的な無差別大量殺りく兵器の廃絶を支持し、世界の恒久平和を願います。

今年1月22日、世界の核軍縮への期待が高まる中、核兵器禁止条約が発効されました。これまで以上に求められる状況にあります。日本が果たすべき役割が、これまで以上に求められる状況にあります。日本政府は核兵器禁止条約への署名・批准および同条約の第1回締約会議(2022年3月オーストラリアで開催予定)へのオブザーバー参加に対しても慎重な姿勢を示しています。

このように情勢の中、健康と命を脅かす全ての戦争に反対し、環境汚染問題に取り組む本会の平和環境部では県内全首長、全議員に対し、核兵器禁止条約についての公開質問状を送付し、回答を取りまとめて報告します。

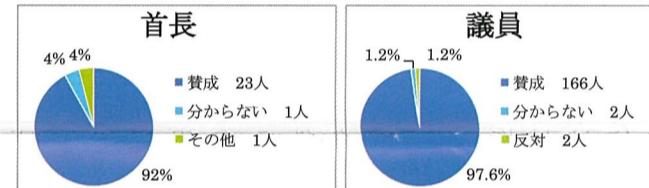
今回の公開質問状にご協力頂いた首長・議員の皆様に感謝申し上げます。もしも沖縄県を小型核爆弾等で攻撃するとしたら、米軍基地のある自治体や人口密集地が高確率で狙われるのではないかでしょうか。沖縄県知事をはじめ、名護市・沖縄市・宜野座村・読谷村・北中城村の首長からは、何らかの意思の発信があり、米軍基地の存在と関係もあるように感じました。

一方、人口密度では全国でも上位3%以内(1718市町村中38番目)にあり、県庁所在地でもある那覇市長の意見発信が無かつたことは残念です。これを機に、県内での核兵器廃絶の実現に向けた議論が再燃します。

質問1

地球上の核兵器廃絶を目指す「核兵器禁止条約」に対するお考えは如何ですか?

賛成	189人 (96.9%)	反対	2人 (1.0%)
分からぬ	3人 (1.5%)	その他	1人 (0.5%)
※未回答 1人			



首長、議員ともに党派問わず、核兵器禁止条約に賛成する回答が90%を超えており、本条約発効による核兵器廃絶への期待感が表れています。

所属/氏名	質問4	質問5
宜野座村長 松川正則	核兵器国と非核兵器国との信頼関係の再構築や国際社会における核軍縮・不拡散への理解促進。	「宜野座村反核、軍縮を求める平和都市宣言」の下、恒久平和を築くため反核、軍縮の実現を求める。
南風原町長 赤嶺正之	条約の批准については、国民的議論をもつと深める必要があると思う。日本が核兵器保有国と非保有国との橋渡し役となり、核兵器廃絶の実現に向けての役割を果たすためには、世論の後押しが必要。	核兵器、生物兵器、化学兵器は廃絶すべき。
本部町長 平良武康	問2.3に賛成ではあるが、国の専権事項であるため、国政の中で国が主体的に考えていくべきこと。締約国会議に参加し、国の方針を国際社会に述べてもらいたい。	
西原町長 崎原盛秀	日本は唯一の戦争被爆国である。核兵器は非人道的で悲惨な状況を生むことを肌身で感じている国として、その恐ろしさを国際社会に訴えることができる力を持つている。よって、条約に署名・批准する必要な条件はすでに備えており、論を待たないと考える。参加に至らない障壁については、安全保障や経済面で躊躇していると考えるが、条約の署名・批准については、核保有国の参加の有無で判断するのではなく、逆にリーダーシップを取るべき立場であると考える。	日本政府は、本条約に核兵器保有国が参加していないことから核軍縮を目指す上で現実的ではないとして、参加しない姿勢を示していると思われるが、この条約へ多くの国・地域が賛同し、広がっていくことは核廃絶の実現に向けて大きな効果を期待できると考えている。また生物・化学兵器についても核兵器と同様、無差別に生命を奪うものであると考えるため、これについても反対の姿勢を持つべきと考える。今後も核兵器のない世界と恒久平和の実現を目指し、核兵器の廃絶に向けて努力していきたい。
宜野座村長 當眞淳	日本政府が署名・批准を慎重な姿勢を維持している理由に核保有国や非核保有国がある中で、我が国を取り巻く安全保障環境は厳しさを増していることが挙げられていると理解している。まずは更なる核軍縮や国際情勢の緊張緩和に向けた取り組みが必要と考える。	
北中城村長 比嘉孝則	日常的な核兵器廃絶運動や平和運動による国民の意志の醸成と、国連の機構改革が必要と考える。常任理事国たる「拒否権」にうんざりすることのない民主的な機構に改革してもらいたい。	戦争の恐ろしさ、悲惨さを2回の世界大戦の歴史の教訓から学んでいる。特に日本は唯一の被爆国であり、先頭に立って核兵器廃絶を訴えていくべきと考える。また唯一地上戦を経験しており、平和事業を県の基幹産業である観光産業に位置付け、世界に核兵器の恐ろしさと「命どう宝」の精神を発信することは意義がある。
伊平屋元村長 伊礼幸雄	人類の世界平和を考えると積極的に参加すべきである。	世界のさまざまな国で戦争による無差別殺人が行われていますが、核兵器等の製造を辞め、恒久平和を願う。沖縄県は先の大戦の状況をしつかりと子子孫孫に語り継ぐ必要がある。

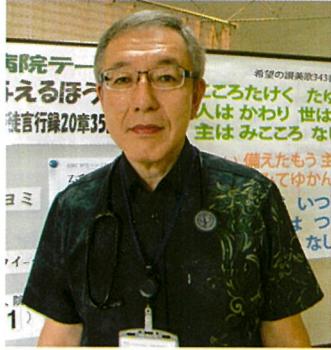
核兵器禁止条約についての公開質問状の取り組み

調査期間: 2021年8月4日～8月20日
調査対象: 740人
調査方法: 各自治体HP等で対象者を確認後、各自治体(総務課、議会事務局)および個人事務所へ郵送し、FAX・メールにて回答集約
回答数: 252人
※但し、本状を発送した20人

(県知事含む)42人、沖縄選市町村議員640人、県議48人、
市町村議員10人、県議事務局42人、沖縄選出国会議員10人、
議員1人

所属／氏名	質問4	質問5	所属／氏名	質問4	質問5
読谷村長 石嶺傳實	政府は「核兵器のない世界」の実現には、核保有国と非保有国の双方の協力が不可欠であり、核保有国の参加のない同条約では実現に資さないこと、また同条約が核保有国と非保有国の溝を深めることになりかねないことから、同条約への署名・批准を見送ったものと理解しております。日本政府におきましては、唯一の戦争被爆国としての立場から、同条約への署名・批准に向けて国際社会、とりわけ核保有国へ粘り強く交渉し、「核兵器のない世界」の実現に向けて取り組んでいくことを期待します。	核兵器については先の大戦において、日本は世界で唯一の戦争被爆国となりました。広島・長崎に投下された原子爆弾によって一瞬にして多くの尊い命が奪われ、今もなおその影響によって苦しめられている方が多くいらっしゃいます。沖縄においては、多くの住民が犠牲となつた沖縄戦が起き、戦争の悲惨さ、平和の尊さを身に染みて体験してきました。私たちは、かつての大戦と沖縄戦の教訓に立ち、争いのない平和な世界を希求する心を次の世代へと繋いでいく必要があります。平和で平等な世界の実現を目指して、ともに取り組んでまいりましょう。	県議会議員 上原草	核兵器保有国が条約に署名・批准しないと表明している。保有国が兵器を減らさなければ、核廃絶には至りません。被爆国日本として核保有国に対し、核兵器禁止条約への署名・批准の働きかけを粘り強く行っていかなければならないと考えます。	核兵器禁止条約は「核兵器を初めて違法として禁止した画期的な国際法規範」として高く評価します。核兵器のない世界を実現するためには、何らかの法的枠組みが必要であり、核廃絶に向け核保有国と非保有国の橋渡しを日本が担っていかなければなりません。生物兵器、化学兵器の使用も禁止すべきと考えます。
大宜味村長 宮城功光	分からぬ。	なし。	県議会議員 金城勉	国民世論がもっと盛り上がり、核兵器を保有することも使用することも許さないという価値観を広げるべきです。	広島・長崎への原爆投下による悲惨な体験は二度と起こしてはならない。生物兵器も化学兵器も同様に使用禁止すべきです。
渡嘉敷村長 座間味秀勝	核保有国全てが批准することが必要	核兵器は廃絶すべき！	県議会議員 國仲昌二	米国との隸属的関係	人類の理性を生かして廃絶すべき
与那国町長 糸数健一	アメリカ、ロシア、中国他全ての核保有国が核兵器禁止条約に署名・批准しない限り難しい問題だと思います。	兵器には良い兵器、悪い兵器はないと思います。廃絶を目指すのであれば、全ての兵器、武器を楽器に替えるべきではありませんか？	県議会議員 島袋恵祐	日本政府が米国との「核の傘」と核抑止論から抜け出すべき。唯一の被爆国として世界の先頭に立つて核兵器廃絶を訴えるべき。	核兵器の使用は熱線や爆風によって都市を一瞬にして破壊し、人々を無差別大量殺戮する非人道的な大量破壊兵器です。沖縄においては米軍占領時から現在まで米軍弾薬庫に貯蔵と管理部隊の存在が指摘されている。大量殺戮兵器の使用はあってはならない。世界から核兵器廃絶と基地のない平和で豊かな沖縄実現を目指がんばります。
衆議院議員 赤嶺政賢	菅政権が条約への参加を否定しているのは、日米軍事同盟を絶対視し、核抑止力の考え方しがみついているからです。核抑止力とはいざとなれば広島・長崎で起つたような惨害を容認する考え方です。到底認められるものではありません。しかも、いま新型兵器の開発・配備や軍事技術の進展、米国のINF条約からの脱退などにより、核兵器が実際に使用される危険が高まっていることが指摘されています。唯一の戦争被爆国として条約への参加を決断し、いかなる国による核兵器の使用・保有も認めず、世界の核兵器廃絶の取り組みをリードする立場に立つべきです。	米軍統治下の沖縄には米軍の核兵器が配備され、核ミサイルの誤射や水爆搭載機の水没など危険極まりない事故も起きました。沖縄の本土復帰時に核兵器は撤去されたと言われていますが、有事の際に再び持ち込むための密約が結ばれていたことも明らかになっています。沖縄から核兵器廃絶の声を上げ、核兵器禁止条約に署名・批准する政府をご一緒にくりましょう。	県議会議員 次呂久成崇	核保有国や核の傘に頼っているから署名・批准すると「核の傘」を万全することができない。非核化しても安全が担保されるような取り組みを同盟国に積極的に呼びかける姿勢と同盟関係のあり方、見直しが必要。	唯一の被爆国である日本、唯一の地上戦があつた沖縄から「核のない世界」の実現と「核兵器禁止条約」に署名・批准する取り組みを進めよう。平和を希求する沖縄県民の果たすべき役割だと思います。
元衆議院議員 照屋寛徳	対米従属の外交姿勢を改め、唯一の戦争被爆国としての責任を国際社会に示すべき。	戦争の火種となる兵器はいかなるものでも不要。とりわけ非人道的兵器は製造、保有を認めず、全廃すべきだ。	県議会議員 瑞慶覽功	必要な条件なし、唯一の被爆国として、署名するのは当然、障害となっているは、政治家の墜落	このまま経済、自国ファーストのまま進めば、人類は滅亡する。これまで沖縄は1959年、1964年、県民の知らない間に、核ミサイルの事故や中国へのあやまつた命令により、核の事故や戦争に巻き込まれそうになった事が近年になって解った。運良く生かされた、次はない、その事に気付くべきだ。
元衆議院議員 屋良朝博	アメリカの核の傘に依存する安全保障体制維持という考えから脱却し、対話の促進によって平和を構築していく外交を推進する。	国内唯一の地上戦を経験した沖縄から2度とこのような被害をもたらすことのないよう平和の大切さ、尊さを訴え続けていく。そのためにも命をおびやかす兵器をこの世界からなくしていく努力を積み重ねていく。	県議会議員 瀬長美佐雄	核兵器禁止条約に署名批准する国会議員を選ぶ。国会の多数派になる。米国の核の傘から脱却する政府をつくる国民の決意が大事。	沖縄戦を生き抜いた先人の思い「命どう宝」「二度と戦争をしてはいけない」を受け継ぎ、軍事に頼らない平和な島沖縄を創りましょう。
衆議院議員 國場幸之助	我が国は唯一の戦争被爆国として、国際社会の取組をリードする使命を有しており、核兵器禁止条約が目指す核廃絶というゴールは共有しています。一方でその実現には、核兵器保有国を巻き込んで核軍縮を進めていくことが不可欠ですが、現状では核兵器禁止条約はどの核兵器国からも支持が得られていません。また多くの非核兵器国からも支持を得られておりません。また我が国周辺には、北朝鮮の核・ミサイル開発など、不透明・不確実な要素が存在し、軍事活動の活発化の傾向も顕著となっています。我が国の安全保障を確保するためには、米国による核抑止力が不可欠ですが、核兵器禁止条約はそのような抑止力そのものを否定しています。このような現実の安全保障上の脅威に適切に対応しながら、現実的に核軍縮を前進させる道筋を追求していくことが適切であると考えており、核兵器禁止条約に署名する考えはありません。その上で我が国としては、核兵器廃絶という共通のゴールに向け、核兵器保有国を巻き込んだ27年連続の国連総会における核兵器廃絶決議、被爆の実相を伝える取組などを通じて、核兵器廃絶に関する立場の異なる国々の橋渡しに努め、核軍縮の進展に向けた国際的な議論に積極的に貢献していく考えです。また、核兵器禁止条約の締約国会へのオブザーバー参加については、これまで述べてきた我が国の立場に照らし、また締約国会合の実際の在り方や今後の地域情勢・国際情勢等も考慮した上で、慎重に見極める必要があると考えます。生物兵器禁止条約及び化学兵器禁止条約両方の締約国である日本は、積極的な取組を行っています。生物兵器に関しては、我が国は生物兵器による国際平和の脅威に対処するために、生物兵器禁止条約(BWC)未締結国に対する条約締結の働きかけを行うとともに、日本の高い知見を各國と共有することにより条約の強化に係る取組を積極的に行っています。化学兵器に関しては、近年も化学兵器が使用される事案が発生する中、我が国は化学兵器禁止条約(CWC)の未締結国への締結支援やアジア諸国との国内実施体制強化のための取組等、CWCの実施機関である化学兵器禁止機構(OPCW)の活動に積極的に貢献しています。先の大戦において、沖縄は凄惨な地上戦の場となり、罪もない民間人を含む20万人もの尊い命が失われました。沖縄戦から76年を迎えた今、私たちが享受している平和と繁栄は、犠牲となった尊い命と、沖縄の人々の筆舌に尽くしがたい苦難の歴史の上に築かれたものです。世界の誰もが平和で心豊かに暮らせる世の中を実現する。この決然たる信念を貫き、不斷の努力を引き続き重ねていきます。	日本は原爆投下により、その恐ろしさ、むごたらしい犠牲になり、多くの命が失われた。家族を奪われ、生き残った人々もクロイドや内部被爆等、様々な症状に苦しみ、さらにはそのことで偏見や差別を受け、その後の人生までつらい思いに翻弄された。何の保障(補償)もなく今なお苦しむの中にいる。これ以上の条件があろうか。日本は唯一の被爆国というだけで署名・批准するべきだ。米国の顔色ばかり伺っているから、まともな外交ができるない。独立国として、国民の痛みに寄り添い、毅然とした態度で署名・批准するべきだ。	県議会議員 平良昭一	米国追従の考え方。被爆国である日本が署名・批准をすると、その加害国である米国との関係悪化を恐れている。	被爆国である日本が核兵器廃絶に向けて役割は大きいと思う。核兵器だけでなく、あらゆる無差別大量殺戮兵器は人道上、絶対に使用すべきでない。かつての大戦でこの世の地獄を集結したと言われた沖縄戦。その地獄を生き抜いてきた沖縄県民だからこそ、そういう兵器の使用に反対し、その愚かさ、空しさを強く訴えていくべきだ。
参議院議員 伊波洋一	必要条件については分からぬ。米国の核戦略へ追随が理由だろう。障壁になっているのは米国「核の傘」への依存。	核兵器禁止条約の発効は、生物兵器(1975年発効)・化学兵器(1997年発効)に続くもので、ジュネーブ議定書(1925年)から始まった無差別大量殺戮兵器を禁止させることが必要であるとの国際世論の成果。日本政府にも署名・批准させよう。	県議会議員 当山勝利	広島・長崎に原子爆弾が使われた世界で唯一の被爆国であり、日本政府が同条約に署名・批准することに障害はないはず。	いずれの兵器も人道的な考え方から使用すべきでなく、開発はおろか排除すべき物である。
参議院議員 高良鉄美	条約は国会承認が必要となるため、非核三原則を事実上反故にしてきた自民党政権下での承認は不可能と考える。政権交代後に批准に向けた議論を行うべきである。日本政府が核兵器禁止条約に否定的な考え方をしているのは、日本が既に批准しているNPT(核不拡散条約)で、5か国に核兵器保有を認めていることと、核兵器の開発や実験、保有、使用、威嚇など、いかなる場合にも禁止している核兵器禁止条約に齟齬があるほか、核兵器を保有する米国に依存していることなども理由にあると思う。	唯一の戦争被爆国である日本は、どの国より核兵器に因る被害の悲惨さを知り、核兵器の非人道性を世界に発信する責任がある。国際人道法に違反する核兵器、生物兵器、化学兵器は全廃すべきである。沖縄戦で多くの尊い命が奪われた沖縄県民として、二度と戦争を繰り返すことのないよう、今こそガルトウング博士が提唱している「積極的平和」の実現に向けて努力したい。	県議会議員 渡久地修	核兵器禁止条約に署名・批准するため必要な条件は、日本政府が署名・批准する意思があるかどうかである。政府が参加するような国民的な世論を広げることが急務である。	核兵器の製造、保有、使用は犯罪であり、国際法(禁止条約)で禁止されている。沖縄には復帰前に米軍の核兵器が配備されていた。今まで米軍は中国を念頭に有事の際の再持ち込みを狙っている。日本も沖縄の先島にミサイル配備を強行している。沖縄が再び76年前の戦争のように、日米両政府の捨て石にされる危険性が高まっている。核兵器のない世界を目指すとともに、沖縄から米軍基地をなくすことが必要だ。
県議会議員 赤嶺昇	我が国は、唯一の核兵器被爆国として核兵器禁止条約に署名をする責任があると思います。	我が国で唯一の地上戦が繰り広げられた本県は、凄惨な戦争を二度と繰り返してはならないと認識をしている。核兵器の廃絶を本県から訴えていく事は、沖縄県民の願いである。	県議会議員 西銘純恵	署名・批准する政府に変える政権交代。首相自身が禁止条約に「署名する考えはない」と明言している菅政権を、参加を支持する7割以上の国民の力で政権交代は可能。アメリカの核の傘から抜け出せない政府。非人道的惨禍をもたらす核兵器をいざとなれば使うという「核抑止論」に頼る菅政権が最大の障壁。	いかなる武器もいらない。ましてや人間を残虐に殺りくし、人間の尊厳に反する核兵器は直ちに廃絶すべき。基地の島沖縄から核兵器廃絶の声を上げよう。
県議会議員 比嘉瑞己			日本がアメリカの「核の傘」に依存し、「核抑止力」を正当化していることが最大の障壁。核兵器禁止条約を支持する圧倒的な世論を築き、政治を変えることが必要。	アメリカなど核保有国が支配する世界ではなく、小さな国々を含めた全ての国は国際政治の主人公となる時代を迎えている。声を上げ政治を変えましょう!	
県議会議員 山里将雄			日本は世界唯一の被爆国として、真っ先に署名・批准すべき。核兵器禁止条約に署名・批准しないのは、核保有国であるアメリカに依存し、忖度しているから。		

【市町村議員の回答は次号に掲載します。】



協中央病院の緩和ケア病棟立ち上げに呼び戻され、2007年に24床のホスピスケアセンターを開設しました。2006年に国会で可決、成立した「がん対策基本法」は全国で緩和ケアの普及が進む大きな追い風になつたと思います。いま全国には緩和ケア病棟のある病院が453病院、沖縄県にも6病院、約150床がありまします。ずいぶん増えまし

ア医になりました。して方向転換をして緩和ケア医としてのキャリアもそれなりに積んできました。60歳を越えて自分の今後を考えるようになりました。最初は基地の問題を通してでしたがもともと沖縄の歴史や文化には関心があり、休暇のたびに家族で何度も訪れていました。偶然にある方からアドバイスで緩和ケア医が必要としているというお話を頂いて、現在の病院に勤務し始めました。

現在の病院に勤務し

令和3年4月から沖縄に単身赴任し、西原町のアドベンチストメディカルセンター緩和ケア科に勤務されている小林良裕先生にお話を伺いました。小林先生は今年、北海道保険医会から転入されました。

先生の経歴

会員紹介

153

アドバンチストメテイルセンター
緩和ケア科
小林良裕先生
般教養科目
は免除でいい
きなり専門
科目からの
スタートに
なります。

た。アドベンチストメディカルセンターは2003年から緩和ケアに取り組み現在は全室個室で31床、2022年4月からは48床に増床します。県内では一番大きな緩和ケア病棟、ホスピスになります。

診療分野

20代の頃からアジア、アフリカに医師、保健師を差

診療で心がけていること

き、キリスト教主義の病院でもあります。そこで松本ノリフ先生からこちらの病院の運営をお聞きし、友人たちから評判の良い病院だと聞いていましたので、こちらで働く決心をしたものです。

診療で心がけてること

緩和ケアは疼痛など身体の苦痛を取り除くだけではなく、精神的・社会的・ピリチュアルな苦痛、苦悶という全般的な苦しみへのケアを提供するものです。そのためには多職種によるチーム医療、さまざまな援助が必要になります。たして患者さんが死を前にして苦悩する時、傾聴がその苦しみを和げます。医師としてチーム医療を大切にし、その力によって全的な苦痛に対しても質の高いケアを提供できるように心がけたいと思います。

きてこられました。そして
いま人生の最期の時を過ご
すためにアドベンチストメ
ディカルセンターに来てい
ます。そう思うと皆さんに
は良い時間を過ごして頂き
たいと強く思います。北海
道とはまた違う患者さんた
ちの歴史があります。あの
戦争を生き抜きそして戦後
沖縄の復興にご苦労された
方々です。本当に良くして
差し上げたいと思います
ね。

やはり人の最期をたくさ
ん診るわけですからたしか
に辛さはありますが、患者

九州、本州でこれまで暮らしてきた私に、沖縄が思ひがけず、そして私は理解できない色調を帶びて話題になることが幾たびかあった。その一つは、私が院長をしていたクリニックに2010年晚秋、厚労省が行なった個別指導の後日談の中だった。個別指導の結果は個別指導の中身。指導は「概ね妥当」で不満はなかったが、納得できないのは「医療の質」の向上を目的とした「指導大綱」に基づいて行われるハズだが、実際はこれとおよそ関係のないことばかり。そこで「『指導の質』を高めて下さい、厚労省」の投稿を翌年春、長崎保険医新聞に掲載しても、その新聞を厚労省長崎事務所の担当者に「読ん

寄稿

オリフ山病院 竹内 隆

中で報われることもまたいいと思っています。さんやご家族との関わり日曜日は教会に行きまが、他の休日は、絵が好みなので美術館や画廊に行たり、博物館で沖縄の歴史を学んだりしています。しかし、コロナ禍で緊急事態宣言中はずつと閉まってたので困りましたね（笑）趣味や休日の過ごし方差し支えなければご家族の紹介を札幌に、大学の学生相談

で頂き感想を求める」「手渡した。彼は、「実はすぐに戻るのです」。こへ?に「沖縄です」とけない表情。沖縄戦で日本による県民の虐殺、米基地の集中、山ほどの無を押し付けられた沖縄には関心がないのだろう。しかし、日本の西の端の長から南の端の沖縄へ動くけの転勤がそれほどに不意なのは何故なのか?

2019年、クリニツの院長を辞めることが出た私をオリブ山病院が受け入れてくれ沖縄で週に1の勤務が始まった。前後の勤務が始まつた。前後の勤務が始まつた。前後の勤務が始まつた。市数日間は県立図書館、県文書館で過ごす心算で。」り出しは順調だった。市村史にまとめられた沖縄生き残者の書き生き残された日本軍の怖さ、1971年の本土復帰を前に当時人々が抱いた希望と憂慮明治政府による琉球処分その後、どのように捉え

妻と今年から言語聴覚療法士の大学に通う娘が一人います。

保険医協会に対する要望や期待

毎月医学的な講演会の記事やエッセイ、沖縄ならではのお話など楽しく協会紙を読ませてもらっています。今後、また対面の学習会ができるようになつたら是非参加したいと思います。また、もし緩和ケアに関するご相談やお困り事がありましたら、保険医協会の仲ですのでご遠慮なくお

れて来たか…。テーマは略
らんに行つた。
そこへ突然のコロナ禍
沖縄への“通勤”が数ヶ日
単位で二度中断した。昨年
末から通勤は復活したもの
の、5月の沖縄県緊急事態
宣言で図書館、公文書館は
休館。だから代わりに糖
病の運動療法(ランニング)
を沖縄でもすることにした
走りながら携帯(3G)の地
図を使ってさえ度々迷い子
になつた。しかし、そのち
かげで伊波普猷の墓、街中
にひつそりと残された御巒
尚家の人々が琉球処分後に
暮らした家屋を見つけ思わ
ぬ「歴史散歩」にもなつた
迷い子になって新たな「な
ぜ?」が生まれたり、走つた
おかげで得た実感もある。
「鉄の暴風」で旧来の街並み
が徹底的に破壊された那覇
浦添で現在の道路の分かれ
にくさは何故なのか?占領
者の米軍が基地さえ使えな
ばそれで良いと復興を考え

共済部だより

休業されたらすぐに協会にご連絡を!
2021年10月度休業保障共済保険給付実績

2021年10月度休業保障共済保険給付実績				
	口数	入院	自宅療養	給付金額
A先生	5口	25日	27日	1,810,000円
B先生	5口	12日	0日	480,000円
C先生	5口	0日	31日	930,000円
D先生	3口	0日	92日	1,107,000円

開業・就業状況、住所変更、勤務先変更などがありましたら、
速やかに協会事務局(☎098-832-7813)にご連絡下さい。

問合せ頂ければ嬉しく思
います。

なかつた結果なのか？モノレールの赤嶺駅からひめゆり平和祈念資料館まで走った時、県南部が実は狭い地域であることに気がついた。面積は多分、100平方キロ前後。1945年5、6月にこの地で亡くなつた民間人は、県全体での死者¹⁴1万人（？）のうち約3万2千人（？）。50m四方に遺体千人の勘定だろうか。生者者が語る「死体を踏みつけながら雨の中を逃げ惑った」こそが現実だった！

学術研究コーナー

保団連 第36回医療研究フォーラム（岐阜県）9月19日・20日

後編

歯科・医科（精神科）連携により、著明に改善した「非定型歯痛」・「口腔内セネストパチー」の5症例

演題発表 仲里 尚実

スライド9

症例2 82歳女性 口腔内セネストパチー（体感幻覚症）

主訴：脳梗塞（68歳）後から「口の中に苦い液が出る。食事も苦い味がする。10年以上悩んできた」
 ・S歯科医院からの紹介状：『口腔顔面痛を治す』の158頁に記載されている
 症状です。
 既往歴：糖尿病、脳梗塞、大学病院口腔外科で『異味症』の診断。
 生活歴：手一つで水商売をしながら子供3人を育て上げる。60歳からシルバー人材センターで働き、現在は独居。
 治療経過：抗うつ薬レクサプロ（SSRI）10mgから開始、20mgまで増量。
 苦みの訴えは軽減したが、「左頬から唾液が流れる」の訴えが続いたため抗精神病薬アリピラゾール3mgを追加した。
 「最初の症状の強さを10とすれば、今は3～5くらいかな。10年も苦しんだからありがたい」

82歳女性、口腔内セネストパチーと診断した。脳梗塞後から「口の中に苦い液が出る。食事も苦い味がする。10年以上悩んできた」と訴えた。
 抗うつ薬レクサプロ（SSRI）10mgから開始、20mgまで増量。苦みの訴えは軽減しましたが、「左頬（ほほ）から唾液が流れる」の訴えが続いたため抗精神病薬アリピラゾール3mgを追加した。その結果「最初の症状の強さを10とすれば、今は3～5くらいかな。10年以上も苦しんだからありがたい」と感謝された。

スライド10

症例3 68歳女性 非定型歯痛



主訴：口蓋・上前歯（切歯）の痛みと激しい違和感
 ・半年前に「詰め物」の治療後から症状が出現、徐々に耐えられなくなった。
 ・紹介歯科医の記載「ここに腫れを感じ切開してほしい。膿を出してほしい。肉を切り開いてきれいにしてほしい」と具体的に指示する。県立病院口腔外科・大学病院耳鼻科・麻酔科でも歯科的には「異常なし」とされた。
 ・一日に何回も電話をしてくる。大学の口腔外科にも同様要求があり。
 治療経過：表情には苦痛感はないが、次から次へと滑舌良く多彩な愁訴が続いた。確実に内服してもらうことを約束し、アミトリプチリン25mgから開始、2週間にごとに漸増し75mgで維持した。
 ・効果は劇的であった。「絶好調です。もう普通の生活になっています。孫の世話をしています。孫の面倒もみています。もう飲まなくていいかななど…」
 私：ダメです！少なくとも半年は飲み続けてください。それから減量を考えます。

68歳女性、口蓋・上前歯（まえば・切歯）の痛みと激しい違和感で紹介受診。歯科の紹介状によると、患者は「ここに腫れた所のウツを出してほしい。肉を切り開いてきれいにしてほしい」と具体的に指示する。一日に何回も電話をしてくる。県立病院の口腔外科にも同様な行動があるとのことであった。アミトリプチリン25mgから開始、2週間にごとに漸増し75mgで維持した。効果は劇的で2カ月目には「絶好調です。もう普通の生活になっています。孫の世話をしています」と別人のようになってしまった。

スライド11

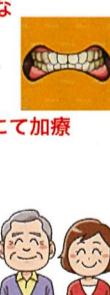
症例4 81歳男性 非定型歯痛

主訴：左右奥歯の痛み
 ・5年前、76歳のころから奥歯の痛みが出現。強くなったり弱まったり、消失したりの繰り返し。この一か月症状は悪化している。
 ・大学病院も受診した。
 生活歴：大学卒業後、数学教師として定年まで勤めた。その後は趣味の読書や子供たちに空手を教えたりして過ごしていた。
 治療経過：アミトリプチリン25mgから開始、2週間に50mgとした。この時点で「歯の違和感はあるが、夕方には痛みを感じなくなっている」さらに75mgに增量し維持した。
 ・妻は「食事の度に痛いと言っていたのが、今は言わなくなっている」
 ・本人は「喉が渴くが今までいい」

81歳男性、主訴は左右奥歯の痛み。5年前から奥歯の痛みが出現。強くなったり弱まったりの繰り返し。この一か月症状は悪化している…とのことであった。
 アミトリプチリン25mgから開始、2週間に50mgとした。この時点で「違和感はあるが、夕方には痛みを感じなくなっている」と述べ、さらに75mgに增量し維持した。
 妻は「食事の度に痛いと言っていたのが、今は言わなくなっている」本人は「喉が渴くが今までいい」とのことであった。

スライド12

症例5 75歳女性 非定型歯痛（当院通院中）



・2014年に開業内科クリニックから当院に認知症鑑別診断目的で当院に紹介された。
 主訴：クリニック受診の数週間前から上下の歯が「ガクガク震えて眠れない」。「喰いしばりがある」
 ・琴の教師（師範）で組織の幹部であるが、幹部間で意見の相違があり、「面白くないですよ」と訴えがあった。
 ・老年期うつ病の診断でSSRI・SNRI、少量の抗精神病薬、睡眠薬などで加療したが愁訴は全く変わらぬまま5年が経過した。
 ・受診時は笑顔のままでありひっ迫感はなかった。
 ・2019年3月にアミトリプチリン10mgを内服中のSNRIに上乗せした。
 徐々にスイッチし3か月後にアミトリプチリン75mgのみとした。
 ・これが奏功し「喉の渴きはあるが、『食いしばり』は半分以下になった。今までいい」と喜んでくれた。

75歳女性、当院通院の方です。7年前に内科クリニックから症認疑いで紹介された。「上下の歯がガクガク震えて眠れない」「喰いしばりがある」と訴えていたが、老年期うつ病と診断し、SSRIやSNRI、少量の抗精神病薬、睡眠薬などで加療したが愁訴は少し改善しただけで5年が経過した。
 ふと思いつき、2019年3月にアミトリプチリン10mgを内服中のSNRIに上乗せし、徐々にスイッチし3か月後にアミトリプチリン75mgのみとした。
 これが奏功し「喉の渴きはあるが、『喰いしばり』は半分以下になった。今までいい」と喜んでくれた。

スライド13

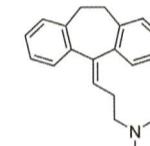
5症例 治療結果

症例	性別	主訴	罹患期間	効果判定
1 73歳	女性	左奥歯の痛み	3か月	著効 夫：「訴えが半分以下になった」 ★★★★☆
2 82歳	女性	口腔内の苦味、違和感	10年以上	著効 「以前の半分～3割程度になった」 ★★★★☆
3 68歳	女性	特定不可の歯全体の痛み	7か月	劇的著効 「全く痛みは無くなり、前より元気になった」 ★★★★★
4 81歳	男性	左右奥歯の痛み	5年	著効 「口渴が続くが、今までいい」 ★★★★☆
5 79歳	女性	「歯がガクガクする」「食いしばりがある」	7年	著効 「食いしばりは半分以下になった」 ★★★★☆

演者の主観的効果判定は図の通りである。具体的に「ああしきうしろ」と指示してきた症例3は劇的効果の五つ星。その他は四つ星とした。

スライド14

アミトリプチリン（トリプタノール）



アミトリプチリン（Amitriptyline）は、抗うつ薬の中でも最初に開発された三環系抗うつ薬（TCA）の一種である。主に抗うつ用途として処方されるケースが多いが、神経痛や薬物乱用頭痛の緩和、それにともなう頭痛薬の断薬などを目的に処方されるケースもある。作用機序としては、脳内においてノルアドレナリン及びセロトニンの再取り込みを抑制し、シナプス領域のモノアミンが増量する。日本での先発品名はトリプタノール。

日本での適応：①うつ病・うつ状態 ②夜尿症
 ③末梢性神経障害性疼痛

副作用 抗コリン作用が強く、口渴、便秘、めまい、眼鏡、排尿障害、など
 閉塞隅角緑内障の患者には禁忌（眼圧上昇）

アミトリプチリンは三環系抗うつ薬で古いタイプの抗うつ薬である。ある種の疼痛には鎮痛効果が知られていた。

スライド15

井川氏らの著書から抜粋



- ・口腔顔面痛学は1990年代に米国で発達。日本には今世紀に入ってきたばかりの歯科医学の新分野。
- ・学会も発足して間もなく、専門医の数も少ない。
- ・保険制度上、歯科医は抗うつ薬が処方できないそのため医師に抗うつ薬処方依頼をしなければならない。
- ・また医師がこの疾患を理解している必要がある。

口腔顔面痛学は歯科医学の新しい分野で、専門医の数もまだ少なく、また保険制度上、歯科医師は抗うつ薬が処方できないことが問題である。

スライド16

考察・結論

- 1、「原因不明の口腔顔面痛」の講演・研究会を2017年から3年連続で開催した。第1、2回は「歯科研究会」であったが、3回目は「医科歯科合同研究会」となった。
- 2、この研究会に参加した開業歯科医師から5人の患者が紹介されてきて、4人にアミトリプチリン内服による治療を開始した。
- 3、いずれもアミトリプチリン25mgから開始し2週間おきに增量、75mgで維持し著効を得た。
- 4、また演者が7年間「うつ病・不安障害」として治療していた患者にアミトリプチリンを処方し口腔内の症状は改善した。
- 5、歯科医からの紹介患者はいずれも複数の歯科医院・大学病院口腔外科・神経内科・脳外科などを受診して異常を指摘されなかつた。
- 6、前記研究会に参加し、「非定型歯痛」の存在を理解した歯科医師が適切に精神科受診につなげたことが患者を長期の「苦しみ」から救った。
- 7、一般医科医師の研究会参加が少なく、今後の取り組むべき課題である。

強調したい結論は6である。この研究会に参加し、「非定型歯痛」の存在を理解した歯科医師が適切に精神科受診につなげたことが患者を長期の「苦しみ」から救った。医科の参加者が少なかったのが今後の取り組むべき課題である。